

**千葉市地域自立支援協議会
令和4年度活動報告書**

令和5年8月

< 目 次 >

I はじめに

- 1 千葉市地域自立支援協議会の概要・・・・・・・・・・P. 2

II 全体会

- 1 開催概要・・・・・・・・・・P. 3

III 運営事務局会議

- 1 開催概要・・・・・・・・・・P. 4

IV 専門部会（医療的ケア児等支援部会）

- 1 開催概要・・・・・・・・・・P. 6

V 基幹相談支援ネットワーク会議

- 1 開催概要・・・・・・・・・・P. 8

VI 地域部会

- 1 開催概要・・・・・・・・・・P. 9
 - （１）地域部会の委員構成
 - （２）相談支援事業所意見交換会の委員構成
 - （３）中央区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告・・・・P. 10
 - （４）花見川区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告・・・・P. 11
 - （５）稲毛区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告・・・・P. 13
 - （６）若葉区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告・・・・P. 15
 - （７）緑区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告・・・・P. 17
 - （８）美浜区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告・・・・P. 18

I はじめに

1 千葉市地域自立支援協議会の概要

1 目的

障害者の地域生活を支援するためのシステム作りや、障害福祉に関する関係機関のネットワークを構築するための定期的な協議の場として設置するもの。

2 設置根拠

- (1) 障害者総合支援法第89条の3
- (2) 千葉市地域自立支援協議会設置要綱
- (3) 千葉市地域自立支援協議会地域部会、運営事務局会議及び専門部会運営要領

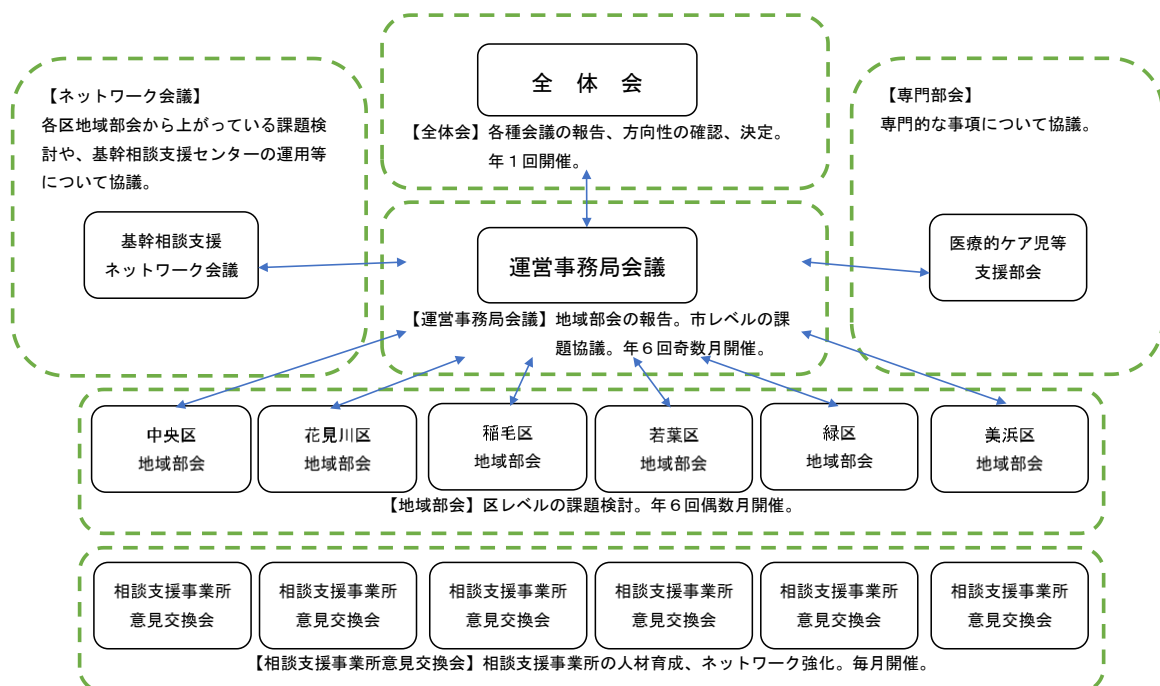
3 設置年月日

平成 19 年 12 月 1 日

4 協議事項

- (1) 障害者基幹相談支援センター事業の検証に関すること
- (2) 地域の関係機関との連携体制の構築に関すること
- (3) 困難事例への対応のあり方に関する協議、調整に関すること
- (4) 地域の社会資源の開発、改善に関すること
- (5) 地域の課題への対応に関すること
- (6) 前号に掲げるもののほか必要な事項

千葉市地域自立支援協議会の体制



II 全体会

1 開催概要

全体会は、例年、年1回を目安に開催しており、第18回目となる令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため書面開催としました。開催概要は次のとおりです。

(1) 資料配付・意見照会期間

令和4年8月1日(月)～19日(金)

(2) 集計日時

令和4年8月30日(火)

(3) 委員構成

障害者基幹相談支援センター、千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議、障害福祉サービス事業者、障害者団体関係者、保健医療機関関係者、教育関係者、雇用関係者、地域福祉関係者、行政関係者 計27名

(4) 意見提出の状況

総委員数 27名

意見提出者数 12名

(5) 事務局

障害福祉サービス課

(6) 主な協議内容

I 報告事項

- ① 千葉市地域自立支援協議会令和3年度活動報告書
- ② 千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について
- ③ 受け入れ先サービス事業所等を探す際の課題に関するアンケート調査報告書
- ④ 千葉市の障害福祉関係統計資料

II 協議事項

- ① 令和3年度障害者基幹相談支援センターの運営状況について
- ② 令和3年度地域生活支援拠点事業の運営状況について
- ③ 日中サービス支援型グループホームについて

Ⅲ 運営事務局会議

1 開催概要

運営事務局会議は、年 6 回を目安に、奇数月に開催しており、令和 4 年度の開催概要は下表のとおりです。なお、運営は、各区障害者基幹相談支援センターの持ち回りで実施しています。

(1) 委員構成

障害者基幹相談支援センター、千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議、障害福祉サービス事業者、地域福祉関係者、行政関係者 計 20 名

	開催日	運営（基幹 相談支援セ ンター）	主な報告事項・議題等
第 1 回	R4.5.26	若葉区	◆ 各区地域部会の議事要旨について ◆ 医療的ケア児等支援部会について ◆ 計画相談支援事業所向けアンケートについて ◆ ヤングケアラー・支援困難事例について
第 2 回	R4.7.28	緑区	◆ 各区地域部会の議事要旨について ◆ 強度行動障害を考える研修会・暮らしの場支援会議について ◆ 千葉市における相談支援体制の課題について
第 3 回	R4.9.22	美浜区	◆ 各区地域部会の議事要旨について ◆ 医療的ケア児等支援部会について（個別避難計画の策定等） ◆ 地域生活支援拠点等と強度行動障害 ◆ 医療機関との連携について ◆ 障害が重複する方の支援の困難さについて
第 4 回	R4.11.24	中央区	◆ 各区地域部会の議事要旨について ◆ 強度行動障害を考える会について ◆ 医療的ケア児等の通学・防災について入所施設利用者の地域への移行について

	開催日	運営（基幹 相談支援セ ンター）	主な報告事項・議題等
第5回	R5.1.26	花見川区	◆ 各区地域部会の議事要旨について ◆ 地域生活支援拠点等について ◆ 児童系事業所との関わりについて ◆ 千葉県精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム事業との連携について ◆ 障害者の就労について～教育分野との関わり～
第6回	R5.3.23	稲毛区	◆ 各区地域部会の議事要旨について ◆ 児童系事業所 HP について ◆ 緊急時の対応について

Ⅳ 専門部会（医療的ケア児等支援部会）

1 開催概要

医療的ケア児等支援部会は、毎月1回オンライン形式で開催しており、令和4年度の開催概要は下表のとおりです。

（1）委員構成

千葉県千葉リハビリテーションセンター、千葉県訪問看護ステーション協会、千葉東病院、相談支援事業所ぱれっと、若葉泉の里、当事者団体、行政関係者 等

	開催日	主な報告事項・議題等
第1回	R4.4.21	◆ 令和4年度の運営方針及び議題の検討
第2回	R4.5.19	◆ 保育や療育の状況について
第3回	R4.6.16	◆ 実態調査（R5年度実施）の検討（※）
第4回	R4.7.21	◆ 就学前の支援について ◆ 障害児通所支援における医療的ケア児童の受け入れ状況について
第5回	R4.8.18	◆ 実態調査（R5年度実施）の検討（※） ◆ 就学前の支援についての課題整理
第6回	R4.9.15	◆ スクールメディカルサポーターについて ◆ 学校に通う医療的ケア児について
第7回	R4.10.20	◆ 個別避難計画について ◆ 医療的ケアのある方の社会資源の広報について
第8回	R4.11.17	◆ 特別支援学校の取り組み

	開催日	主な報告事項・議題等
第 9 回	R4.12.15	◆ 個別避難計画について ◆ 災害時や避難所の情報等で必要な情報整理 ◆ 実態調査（R5 年度実施）の検討（※）
第 10 回	R5.1.19	◆ 個別避難計画について
第 11 回	R5.2.16	◆ 医療的ケアに対応した放課後等デイサービスについて ◆ 個別避難計画について
第 12 回	R5.3.16	◆ 実態調査（R5 年度実施）の検討（※） ◆ 個別避難計画について ◆ 今年度の振り返り、来年度の検討

（※）医療的ケア児者等実態調査について

令和 4 年度の医療的ケア児等支援部会での議論を踏まえ、令和 5 年 6 月 1 日から、医療的ケア児者等実態調査を実施しました。

1 概要

千葉市在住の医療的ケアが必要な方や重症心身障害がある方の地域年代別の人数や当事者ニーズを把握し、本市の施策検討に活用することを目的とするもの。

2 調査対象者

千葉市在住の医療的ケアが必要な方又は重症心身障害児者

3 調査期間

令和 5 年 6 月 1 日から令和 5 年 7 月 31 日まで

4 主な項目

- （1）防災に関すること
- （2）障害福祉サービス制度のこと
- （3）介護者の緊急時の支援体制のこと

5 実施方法

- （1）平成 30 年度千葉県実施調査時の実名回答者に市から郵送
- （2）対象者が通院・利用する可能性が高い医療機関や障害福祉サービス事業所、当事者団体等に対して、調査票の配布を依頼

V 基幹相談支援ネットワーク会議

1 開催概要

6 区の障害者基幹相談支援センター及び障害福祉サービス課により、各区地域部会から上がっている課題検討や、障害者基幹相談支援センターの運用等について、毎月協議しています。

VI 地域部会

1 開催概要

令和4年度の地域部会は、原則偶数月に開催しており、各区障害者基幹相談支援センターが各区毎に運営を行っています。

また、各区地域部会に附属する組織として相談支援事業所意見交換会があり原則として毎月開催しています。各区地域部会と相談支援事業所意見交換会の開催概要は次のとおりです。

(1) 地域部会の委員構成

障害者基幹相談支援センター、障害福祉サービス事業者、民生委員・児童委員、知的障害者相談員、社会福祉協議会、行政関係者 6区地域部会・計36名

(2) 相談支援事業所意見交換会の委員構成

各区障害者基幹相談支援センター、区内の特定相談・障害児相談支援事業所、その他関係機関（区毎に組織）

なお、相談支援事業所意見交換会については、原則として隔月で6区の合同意見交換会を実施しており、令和4年度の実施状況は次のとおりです。

第1回 4月14日(木) 介護保険・65歳からの移行

第2回 5月12日(木) 成年後見制度について

第3回 7月14日(木) 障害年金について

第4回 9月 8日(木) 市養護教育センターについて

第5回 11月11日(金) 療育相談所について

第6回 1月16日(月) 行政から見たサービス等利用計画書やモニタリング報告書について

第7回 3月 9日(木) まだ、間に合う！虐待防止研修

(3) 中央区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

千葉市中央区障害者基幹相談支援センター管理者 伊藤 佳世子

中央区地域部会は今年度も各月で年 6 回行いました。内容的には運営事務局会議の報告、中央区の防災部会、中央区 8050 部会、また、医療的ケア部会、地域生活支援拠点の報告を行い、その他テーマについて話し合いました。

8050 部会では今年度の途中から、80 側と 50 側の支援者それぞれの視点の違いを話し合うようにしました。また、令和 4 年度も市民向けフォーラムを 9 月に行うことができました。防災部会ではあんしん防災帳づくり、個別防災計画をつくる、個別防災計画会議を行う、避難訓練を実際に行うところまでをしました。医療的ケア部会は今年度は千葉市の専門部会の方に統合されて、事務局を行いました。

1. 地域部会 偶数月第 4 月曜 10 時～12 時 きぼーる 13 階特別会議室

日程	令和 4 年 4 月 24 日、6 月 27 日、8 月 22 日、10 月 24 日、12 月 26 日、令和 5 年 2 月 27 日
内容	令和 3 年度報告、65 歳移行問題、医療的ケアのある方の通学問題、電源がないと命に係わる方の個別防災計画、児童系通所の課題、地域生活支援拠点等について話し合った。

2. 中央区 8050 部会 毎月第 3 木曜日 13 時 30 分～14 時 30 分

日程	令和 4 年 4 月 21 日、5 月 19 日、6 月 16 日、6 月 26 日、7 月 21 日、8 月 18 日、9 月 15 日、10 月 20 日、11 月 17 日、12 月 15 日、令和 5 年 1 月 19 日、2 月 16 日、3 月 16 日
内容	9 月 17 日市民向け講演会(開場 134 人、オンライン 45 人参加)、民生委員向け勉強会 2 回。また、関係機関で事例検討会を 3 回開催した。引きこも地域支援センターによるメンバー向け勉強会。

3. 中央区防災部会 毎月第 3 木曜日 15 時～16 時

日程	令和 4 年 4 月 21 日、5 月 19 日、6 月 16 日、7 月 21 日、8 月 18 日、9 月 15 日、10 月 18 日、10 月 20 日、11 月 17 日、12 月 15 日、令和 5 年 1 月 19 日、2 月 16 日
内容	あんしん防災帳を用いたワークショップ(2 回延 10 人参加)、医療的ケアのある方の避難訓練(3 名)を実施。個別避難計画を 5 枚書く。

4. 意見交換会 毎月第 2 木曜日 14 時～16 時(合同意見交換会以外の日)

日程	令和 4 年 6 月 9 日、8 月 10 日、10 月 13 日、12 月 8 日、2 月 6 日
内容	事例検討会、医療的ケアのある方、精神障害のある方、知的障害のある方のケースについて行った。アセスメントのポイントで知的発達と身体、精神に分けて話し合いをした。

(4) 花見川区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

花見川区障害者基幹相談支援センター管理者 近藤 秀登

地域部会

地域で暮らす人の障害に関連する要因での生き辛さや暮らしにくさとして、基幹相談支援センターに寄せられる相談や相談支援事業所相談員からの問い合わせ、更には行政・他相談支援機関・医療・介護分野等においては、限られた主訴ばかりでなく、家族がそれぞれの課題を抱えたり、個人でも複数の課題を抱えるケースがしばしばで、課題の通減には異なる職種の協力を仰ぐ多職種連携の必要を日々実感しています。

花見川区地域部会では、可能な限り多方面の分野・職種の参加を求め、地域課題を自分事として捉え、各々の立場から考え、意見を出し、そしてそれを持ち帰ったうえで出来ることを実践して貰うことともに、自立支援協議会を通し施策に繋がられないかを模索して来ました。

民生委員、社会福祉協議会、区高齢障害支援課、知的障害者相談員等委員の他にも、特別支援学校、生活自立・仕事相談センター（自立相談支援機関）、あんしんケアセンター（地域包括支援センター）、障害者相談センター等の相談支援機関のほか、児童家庭支援センター、訪問看護ステーション、区健康課等行政機関の参加を得て地域課題対応への協働の場としても役立っています。

実施概要

第1回（令和4年4月22日）18機関、参加総数27名

- ・『千葉市の児童の社会的養護の現状』（児童家庭支援センター・児童養護施設ほうゆう・馬場施設長）
- ・事例『高齢障害者夫婦の在宅生活について【支援と地域生活継続の課題】』ほか

第2回（令和4年6月17日）15機関、参加総数24名

- ・事例『近隣からの知的障害者の迷惑行為に対する相談ケース【支援と地域生活継続の課題】』ほか

第3回（令和4年8月19日）14機関、参加総数18名

- ・事例『7人家族中6人が障害者手帳を持つ家族への介入ケース【支援と地域生活継続の課題】』,第1回・2回で取り上げたケースの進捗,「地域生活でリスクを抱えたケースについての対応を考える」ほか

第4回（令和4年10月21日）17機関、参加総数24名

- ・事例『難病／精神障害の両親が倒れた重度知的障害の子の緊急保護』,『地域生活でリスクを抱えたケースについての対応』【支援と地域生活継続の課題】』ほか

第5回（令和4年12月16日）12機関、参加総数20名

- ・『医療的ケア等支援が必要な方の個別避難計画作成に際し、避難先の選定・確保と地域の協力関係を築く取り組み（実際の動画視聴）』
- ・グループワーク『①.「日中だけではなく生活全般を含めて、どんなサポートが必要か?」, ②.「医療的ケア児等が災害時困らないために今後、地域にどんな資源や仕組みがあると良いか?」』ほか

第6回（令和5年2月17日）13機関、参加総数28名

- ・講演『精神障害の方の家族の側から「家族の立場からお伝え出来ること」（ファーム栗の木家族会／千家連理事・半澤真澄氏）

相談支援事業所意見交換会

設定された年 12 回のうち、6 回を合同での研修会に充て、残り 6 回を区独自での開催としました。各区分の意見交換会で花見川区では、自立支援協議会・基幹ネットワークの取り組みとして地域生活支援拠点等（以下、拠点等）を推進しているところから、そこに果たす相談支援事業所相談員（以下、相談員）の役割を意識する働きかけを主に行っています。

先ず、千葉市が進める拠点等への登録を促進させること、そのためには拠点等の目的・制度理解、加算等事業所へのメリットを伝えるとともに、面的整備の理念を説く中で、ともすれば負担感を抱きがちなところを基幹ネットワークで作成した動画等も用いながら、市内事業所の連帯を促し、ハードルを下げることに努めました。また、相談員は地域生活を営む当事者に最も近い立場の存在として、緊急時へ対応を意識し、備えを働きかけること、そのための事例検討や加算等に関する学習会を設けました。

実施概要

第 3 回（令和 4 年 6 月 9 日）8 事業所、参加総数 22 名

- ・意見交換・テーマ「相談事業所の業務について」（事前アンケートから）
- ・事例『高齢障害者夫婦の在宅生活について（支援と地域生活継続の課題）』【地域生活支援拠点等面的整備である相談事業所の活動事例報告】ほか

第 5 回（令和 4 年 8 月 12 日）7 事業所、参加総数 15 名

- ・意見交換・テーマ「①.相談員育成にあたって教えてほしいこと、②.新人相談員が聞いてみたいこと、③.多職種連携について」ほか

第 7 回（令和 4 年 10 月 13 日）7 事業所、参加総数 18 名

- ・意見交換・テーマ「①.多職種連携について、②.各相談事業所から寄せられた意見質問、」ほか

第 9 回（令和 4 年 12 月 9 日）7 事業所、参加総数 18 名

- ・医療的ケア等支援が必要な方の個別避難計画作成に際し、避難先の選定・確保と地域の協力関係を築く取り組み（実際の動画視聴）
- ・意見交換（グループワーク）・テーマ『家族と相談事業所の関係性【当事者・家族の思いに相談員はどう応えるか】』ほか

第 12 回（令和 4 年 2 月 9 日）8 事業所、参加総数 18 名

- ・意見交換（グループワーク）・テーマ『各相談事業所からの意見について、同じ立場の相談員として考える「①.コロナ禍での担当者会議等について、②.日中活動以外の事業所（移動支援、居宅介護、GH 等）との情報共有、連携（連絡方法等）について」
- ・事例検討相談事業所からのケース

(5) 稲毛区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

稲毛区障害者基幹相談支援センター管理者 井出 孝子

令和4年度 地域部会

令和4年度稲毛区地域部会は、偶数月の午後に計6回開催をいたしました。昨年度同様に、オブザーバーに千葉市障害者相談センター、稲毛区健康課、千葉県中央障害者相談センター、稲毛区知的障害者相談員、児童家庭支援センター、特別支援教育コーディネーター、訪問看護事業所、あんしんケアセンターの方々にご参加いただき、地域課題の抽出と整理を行ってきました。

その他、地域の関係機関の方々に講義をお願いし、地域資源について学ぶ場も作りました。専門的立場より情報をいただき、地域の中でどう連携を図っていくのか話し合う場を設けてきました。事例検討では、地域の中で課題となっている事例を通し、専門的立場よりお話をいただくことで、多角的視点をもった支援に繋げることが出来ました。今後も、事例や地域課題の抽出を行いながら、地域の実情に応じた体制作りが行えるよう努めていきたいと思っております。

【実施概要】

第1回

4月28日(木)：稲毛区障害者基幹相談支援センターより前年度の事業報告。

第2回

6月23日(木)：事例検討「複合課題を抱える家庭に対する支援」について。父が単身赴任、母がワンオペで発達障害を抱えるお子さんたちの対応の困っているケースについて検討。

第3回

8月25日(木)：講義「児童家庭支援センターの役割について」

児童家庭支援センター心理相談員 新井義明氏より、事業内容や実績、相談支援について伺う。

第4回

10月27日(木)：事例検討「8050問題について」

あんしんケアセンター稲毛と基幹相談より8050ケースについて事例検討。ご高齢の親御さんのお子さんに対する障害受容についてや障害福祉サービスの導入について検討。

第5回

12月22日(木)：講義「千葉市消防局 頻回利用者の対応について」

警防部救急課 救急管理係 福島洋氏/梅野哲郎氏より、頻回利用者の7割が何かしらの障害をもっている方ということで、地域の中でそれぞれの立場でどのように連携を図っていけばいいのか対応を検討。

第6回

2月22日(水)：事例検討「地域で暮らす・支える」。ADHD、パニック障害、緘黙症、LGBTQの方で自殺企図があり、度々警察のお世話になっているケース。地域で安心して生活をする為にはどうすればいいのか検討。

○令和4年度 相談支援事業所意見交換会

奇数月は千葉市内六区合同の研修会を開催、偶数月は区ごとに意見交換会を開催しています。開催にあたっては、相談員の皆さんよりご意見をいただき、テーマを検討しながら進めてきました。講師の方をお呼びし、地域資源について学ぶ場を設け、地域資源と相談支援事業所を繋ぐ機会を作っています。実際に、講義後に資源を活用されたり、顔の見える関係が出来たことから相談をしやすくなったというご意見もいただいています。また、意思決定支援や相談員の困りごと等テーマを決めて意見交換も行っています。相談員は一人で支援にあたる機会が多いことから、このような場で日頃の悩み等を共有し、日々の支援を振り返りながら質の向上に向けて取り組んでいます。

【実施概要】

- 4月14日(木): 合同研修「障害から介護サービスに移行するにあたり知っておいてほしいこと」
- 5月12日(木): 合同研修 「成年後見制度について」
- 6月9日(木): グループワーク 「意思決定支援とは何か？」
- 7月14日(木): 合同研修 「障害年金について」
- 8月10日(水): 講義 「千葉県立千葉特別支援学校の役割について」
- 9月8日(木): 合同研修 「千葉市養護療育センターについて」
- 10月13日(木): 講義 「千葉市障害者福祉センターについて」
- 11月10日(木): 合同研修 「療育相談所について」
- 12月8日(木): グループワーク 「支援や手続きで困ったこと・こんな制度があったらいいのに」
- 1月12日(木): 合同研修 「行政から見たサービス等利用計画書やモニタリング報告書について」
- 2月9日(木): グループワーク 「独居の方への支援～相談員としてできること～」
- 3月9日(木): 合同研修 「まだ間に合う！虐待防止研修」

※4月と奇数月は6区合同研修、4月以外の偶数月は稲毛区単独の意見交換会を開催。

○小さな情報交換会（相談支援専門員少人数での情報交換会）

稲毛区では、一人で相談支援を行っている事業所が多く、なかなか周囲に相談出来る環境がなく、不安や悩みを抱えがちであると意見があがっていました。その為、2～3名と少人数で集まり意見交換が出来るよう「小さな情報交換会」と称し、少人数での意見交換の場を設けました。

今年度は顔の見える関係作りに重点を置き、話しやすい雰囲気作りに努めてきました。一人ひとりの相談員の声を聞く場を大切にし、個々が日頃悩んでいることや不安に感じていることを共有しています。困難ケースについて話し合ったり、ケースによっては基幹相談が後方支援としてサポートを開始するケースや地域生活支援拠点事業に繋がるケースもありました。

計4回開催

令和4年9月21日(水)、11月16日(水)、12月15日(木)、令和5年2月16日(木)

(6) 若葉区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

若葉区障害者基幹相談支援センター管理者 伊藤 正彦

令和4年度の若葉区地域部会は偶数月1回、火曜日午前中に開催しました。若葉区地域部会は地域の相談員、分野を超えた関係機関で顔の見える関係を作り、連携しやすくすることを念頭に実施しています。さらに課題の発見、共有、対応について検討しています。

若葉区地域部会では最初に運営事務局会議等の報告、若葉区相談支援事業所意見交換会等の報告を行います。次に事例報告、事例検討、地域の課題の検討を行います。これらを踏まえ、運営事務局会議にどんなことを伝えていくか地域部会を進めています。

参加者は行政から高齢障害支援課、健康課に参加頂き、知的障害者相談員、ヘルパー事業所、民生委員、若葉区社会福祉協議会、市立養護学校、あんしんケアセンター、児童領域、他領域の相談機関など多様な方にもご参加いただいております。8050のケースが挙げられることが多く、ご本人だけでなく家族支援も必要なケースも多かったことが印象的です。介護保険、障害福祉サービスどちらにも該当しないケース、ご本人の属性がはっきりしないケースもあり、どこかの相談機関が関わり続けることだけでも大切であると実感しました。

実施概要

2022年4月26日	参加機関：12	参加総数：14名
各種会議の報告、事例：児童家庭支援センターのケースなど		

2022年6月28日	参加機関：14	参加総数：19名
各種会議の報告、事例：訪問看護対応ケース、家族支援が必要なケースなど		

2022年8月23日	参加機関：12	参加総数：16名
各種会議の報告、事例：8050に関するケース、障害が軽度の方のケースなど		

2022年10月11日	参加機関：12	参加総数：17名
各種会議の報告、若葉区内日中サービス支援型GHからの説明①など		

2022年12月20日	参加機関：12	参加総数：17名
各種会議の報告、若葉区内日中サービス支援型GHからの説明②、事例：不登校ケースなど		

2023年2月21日	参加機関：12	参加総数：15名
各種会議の報告、千葉市障害者グループホーム等連絡協議会からの説明など		

若葉区相談支援事業所意見交換会は偶数月に1回開催しました。奇数月は千葉市6区の合同研修会を実施しています。コロナ禍のため、状況に応じて対面とWeb会議(Zoom)を組み合わせで開催しています。

意見交換会の年間日程を組み、先に周知することで相談員の皆様に参加して頂きやすいようにしました。意見交換会は冒頭に自立支援協議会からの報告、若葉区障害者基幹相談支援センターからの報告、続いて新規事業所の情報共有、検討内容へと進んでいきます。

10月の若葉区相談支援事業所意見交換会では特別支援学校と連携し、千葉市近隣特別支援学校の学校紹介を開催しています。各特別支援学校の特色、卒業後の進路、生徒の特徴などについて発表して頂きました。参加者から特別支援学校と関わる機会があまりなかったの参考になった、もっと詳細部分を聞きたかった、などご感想頂きました。

意見交換会では他にも事例検討、サービス等利用計画案、モニタリング報告書の共有をして頂き、計画案やモニタリング報告書の書き方の工夫、意識していること、改善点について相談員同士で検討を行っています。ひとり職場の方もいるため、相談員同士がつながりを感じ、相談しやすい関係、お互いに支え合える関係を目指しました。

実施概要

2022年6月23日	対面開催	参加総数：20名
各種会議の報告、保護者・ご家族が急逝したケースへの対応など		

2022年8月19日	ZOOM開催	参加総数：17名
各種会議の報告、事例：サービス等利用計画案、モニタリングの確認、工夫点など検討		

2022年10月19日	ZOOM開催	参加総数：30事業所
テーマ：特別支援学校を知ろう（千葉市近隣特別支援学校より各学校の特色を説明）		

2022年12月22日	対面開催	参加総数：15名
各種会議の報告、事例：サービス等利用計画案、モニタリングの確認、工夫点など検討		

2023年2月17日	対面開催	参加総数：15名
各種会議の報告、事例：サービス等利用計画案、モニタリングの確認、工夫点など検討		

(7) 緑区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

緑区障害者基幹相談支援センター管理者 由良 亮人

緑区障害者基幹相談支援センターは、令和4年10月より受託法人を変更し、運営が行われています。公募時に掲げた「緑区ネットワークの強化」を意識して事業運営を行いました。

地域部会

緑区地域部会では、委員に区内障害福祉サービス事業者、民生委員・児童委員、知的障害者相談員、区高齢障害支援課、区社会福祉協議会等、オブザーバーに特別支援学校、あんしんケアセンター（地域包括支援センター）、千葉市障害者相談センター、千葉県中央障害者相談センター、区内3障害種別の事業所の参加を得て地域課題対応への協働の場として、偶数月に計3回開催しました。（11/24、12/26、2/13）

実施概要

第4回（令和4年11月24日）8機関 参加総数 11名

「基幹相談支援センターについて・・・地域課題に対する問題提起」

第5回（令和4年12月26日）8機関 参加総数 12名

「計画相談の必要性の認識の差を埋めていく為には・・・セルフプランについて」

第6回（令和5年2月13日）11機関 参加総数 17名

「計画相談員の必要性の認識の違いについて・・・計画相談員の優先順位」

相談支援事業所意見交換会

緑区相談支援事業所意見交換会では、区単独で実施する意見交換会〔緑区相談支援事業所意見交換会：10/13、12/8、2/9〕と千葉市6区合同で実施する研修会〔6区合同研修会：11/10、1/12、3/9〕を毎月交互に計6回行いました。

意見交換会では、事例検討を通してグループスーパービジョンや障害児通所支援事業所に関する情報提供など、地域の相談支援専門員のニーズや支援上の悩みなどに向き合い、必要な関係づくりに努めました。

障害児通所支援事業所の情報提供については、地域特性としてのセルフプラン作成支援のニーズから相談者や家族が事業所選択に活用可能な事業所の特徴をまとめたリストを作成し、相談者家族や相談支援事業所に情報提供を行いました。

また、区内障害福祉サービス事業所をはじめとした、各種社会資源との連携を強化し、地域生活支援拠点の面的整備に向けて、相談支援事業所や相談員の役割を意識する働きかけを主に行いました。

実施概要

第7回（令和4年10月13日）8事業所 参加総数 12名

- ・基幹相談支援センターについて ・各事業所自己紹介及び現況報告等
- ・今後の意見交換会について（質疑応答、参加者との意見交換）
- ・緑区障害者基幹相談支援センター見学

第9回（令和4年12月8日）10事業所 参加総数 13名

- ・事例検討（グループスーパービジョン） ・各事業所・新規事業者情報
- ・各計画相談事業所現況報告 ・区内児童通所施設情報 ・合同研修について

第11回（令和5年2月9日）8事業所 参加総数 12名

- ・事例検討（グループスーパービジョン） ・各事業所・新規事業者情報
- ・各計画相談事業所現況報告 ・区内児童通所施設情報
- ・区内共同生活援助（グループホーム）情報

(8) 美浜区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

美浜区障害者基幹相談支援センター管理者 藤本 真由美

地域部会

令和4年度の美浜区地域部会は、偶数月の第3木曜日に開催、年6回実施しました。各委員から地域の課題について意見をいただき、「地域防災について」を重点項目として、年間を通じて協議を行いました。地域防災についての基本的な確認から開始し、各機関での防災対策や地域での取り組みについて共有し、年度末には、各機関での被災時の自助・共助・公助において考えうる支援等についてのまとめを行いました。

また、毎回の近況報告の時間を持ち、重点課題以外の地域課題について共有・困りごとに対して意見交換ができる機会を設けています。地域の中では、課題が複合的であったり、ご家族全体に支援が必要なケースも多く、単独の機関での解決が難しいことも多いと感じており、各機関が普段から気軽に連携できる関係性作りを大切にしています。委員の他には、障害者相談センター、健康課、生活自立仕事センター、特別支援学校にもご参加いただきました。幅広い関係者の方に集まっていただく一方で、各参加者でしっかりと意見を交わす事のできる参加人数を意識し運営しています。

第1回 令和4年4月 15日 参加者 8名

「委員紹介および本年度の取り組みの方向性の確認」

第2回 令和4年6月 17日 参加者 9名

「過去の被災時に課題になったことや、地域の防災対策の現状について」

第3回 令和4年8月19日 参加者 10名

「千葉市内の避難所の分類などについて」

「知的障害者の相談先等についてのリーフレットの作成についての意見交換」

第4回 令和4年10月 21日 参加者 8名

「地域振興課との協議についての報告」

「ゴミ出しの支援について」

第5回 令和4年12月 12日 参加者 8名

「地域の避難所運営委員会について」

「美浜区内の児童系事業所と相談支援事業所の意見交換会について」

第6回 令和5年2月17日 参加者 8名

「被災時の自助・公助・共助についての支援・障害種別ごとの災害時支援の要点等」

相談支援事業所意見交換会

美浜区相談支援事業所意見交換会は、偶数月に1回、年間5回実施しました。4月と奇数月は千葉市の6区合同研修会を実施しています。コロナ禍のため、状況に応じて対面とZOOM開催を組み合わせて実施しました。

美浜区では、一人で相談支援事業を担当している方が多いこともあり、相談支援専門員等の悩みなどに向き合い、その都度必要な情報提供や事例検討等を行い、お互いに相談しやすい関係性の構築を大切にしてきました。今後は事業所側からの事例提供による事例検討の機会等も増やし、より、具体的な連携を深めていきたいと考えています。

12月に実施した、地域部会と連動した障害児通所支援事業所との意見交換・グループワークでは、利用者や家族が事業所を選びやすい工夫についてや、保護者や関係機関との連携について話し合いました。

今後も、地域の相談支援員の皆さんと対話を大切にし、必要な情報の提供や連携・後方支援を行う事で、地域生活支援拠点の面的整備をはじめとした、地域の相談支援体制の強化に寄与していきたいと思えます。

第1回令和4年6月24日 参加者 7名

「地域生活支援拠点事業について」

- ・制度や仕組み、加算についての説明。相談員からの質疑応答。

第2回令和4年8月 26日 5名

「成年後見制度について」外部研修参加後、意見交換。

第3回令和4年10月28日 8名

「各相談支援事業所の業務についての共有」

- ・担当件数や、加算について。困難ケースへの対応方法について等。

第4回令和4年12月8日 27名

「相談支援議場所と、児童系事業所との意見交換会」

- ・ユーザー目線でわかりやすい、事業所の周知方法について
- ・情報交換 保護者対応や、連携について。新規受け入れ時のアセスメントについて等。

第5回令和4年2月24日 6名

「基幹センターに望むこと」

- ・ケース等で基幹センターと連携をする際に、望むこと、望まないこと等
- ・基幹センターに対し希望する役割

「千葉市地域自立支援協議会令和4年度活動報告書」

(令和5年8月作成)

<担当>

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害福祉サービス課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

電話：043-245-5228 FAX：043-245-5630

E-mail: shogaifukushi.HWS@city.chiba.lg.jp